

【評定】 A:目標を上回る達成 B:目標を達成または概ね達成 C:目標を達成せず D:目標を大きく達成せず

大項目	中項目	小項目	自己評価		現況	学校関係者評価		今後の学校改善に向けて
			小項目評定	中項目評定		中項目評定	意見、提言等	
A 学校教育の「7つの徹底」	学校評価	1 自己評価を適切に実施し、結果を公表している	B	B	保護者にも学校評価のねらいや進め方などについてお知らせし、計画的に学校評価を進めている。保護者アンケートの回収率も90%あり、関心も高い。学校関係者評価も適切に実施している。	B	・アンケート回収率90%だが、100%をめざしてほしい ・親の関心を高めるため分かりやすい評価項目にしてほしい	・もっと分かりやすい評価項目に改める。
		2 学校関係者評価を適切に実施し、結果を公表している	A					
	幼小・小中連携活動	3 子どもの校種間交流や教員の出前授業を実施している	B	B	保・幼・小交流は2年と5年が中心になって実施している。普段にはない児童の側面を見ることが出来る場である。小から幼、中から小への出前授業は、計画的に実施している。校種間交流や授業研究会は、「学推」を通して計画的に実施している。	B	・中学校との連携を今以上に深めてほしい ・他校園との意見交換は、先生の視野が広がってよい ・保幼小交流は子どもたちも楽しみにしている	・保・幼・小交流は実施時期が重ならないように留意し進めていく。 ・小・中連携の重要性に鑑み、「学推」の事務局を担っていく。
		4 校種間の合同研修会や授業公開を実施している	B					
	子育て支援	5 保護者に対して、子育てに対する積極的な支援を行っている	B	B	子育て支援については、個々のケースに応じて保護者としっかり話し合っているが、授業参観日は5回設けているが、学級懇談会は年2回実施しているだけであり、保護者同士の交流の場となる「井戸端」も、参加者は少ない。	B	・子育てに関する情報を定期的に学年通信などで知らせる ・保護者と学校がコミュニケーションを図れる場を設定してほしい ・学期に1回の懇談会は大事	・家庭学習の手引き書を全保護者に配布する。 ・学校選択のための学校公開日を在校生の保護者も参加できる参観日としていく。
		6 保護者同士の交流や学習の場を意図した参観、懇談会を実施している	C					
	道徳教育	7 生命を尊重する心や公共心、公德心などの道徳的実践力を育てる活動を実施している	C	C	授業参観日に道徳の授業を行っているが、子どもたちに道徳的実践力を育てるには、なお課題がある。道徳資料を整理したり共通で活用したりすることが不十分である。	C	・道徳は家庭から、家庭と学校が共通理解して実施してほしい ・家庭内でもっと会話を増やすべき	・道徳と特活(集団の活動)を意識的に関連づけた活動を仕組んでいく。 ・道徳の職員研修会を夏に実施する。
		8 道徳の授業公開・授業研究や資料の整備を行っている	C					
	体験活動	9 各種体験活動を積極的に実施している	A	B	地域と一体となった体験活動を地域関係者の協力のもとに実施している。子どもや親からもたいへん好評である。また、運動会や音楽会は保護者の参加も多く、子どもの励みになっている。	B	・子どもの感性を磨く上でも重要な活動である ・机の上だけでは身に付かない積極性を養える活動を企画してほしい ・地域との体験活動は続けたほうがよい	・体験活動に関する総合や教科での年間計画を見直す。
		10 発表会等への保護者等の参加を求め、学習のまとめを工夫している	B					
	特別支援教育	11 個別の指導計画を作成している	A	B	担任と特別支援コーディネーターとの連携により、個別の指導計画が予定通り作成できた。その指導計画にそって個を支援しているが、多様な個のニーズに応じられていないこともある。	B	・子ども一人ひとりの個性を伸ばす活動であってほしい ・ちょっとしたきっかけで自信を得る支援を期待する	・子ども一人ひとりの持つ課題に真剣に支援していけるよう、研修会を夏に実施するとともに、個別の指導計画を学期ごとに練り直す。
		12 組織的・計画的な特別支援教育体制を確立している	A					
		13 巡回訪問等を活用した校内研修を実施している	B					
	読書活動	14 週1回以上の全校一斉読書を実施している	A	B	朝の5分間読書が定着し、11月頃からチャイムと同時に静かに読めるようになってきた。不定期ではあるが、読書聞かせボランティアによる「昼休みお話し会」には、低学年の子どもたちが参加していた。図書室や学級文庫の本を増やしたことにより、子どもたちの読書意欲も向上してきた。	B	・本を読む子どもが減少する中で、何とか歯止めをお願いしたい ・本を読み、創造性を育み、幅の広い人生を歩んでもらいたい ・家庭での取組みの呼びかけを工夫する	・読書が苦手な子どもへの方策を考え、読書嫌いを減らす。 ・引き続き図書室や学級文庫の本を充実していく。 ・委員会やボランティアを活用し、本の紹介を工夫して進めていく。
		15 読書環境の整備や地域人材等の活用を行っている	B					
		16 音読、群読、暗唱等の場の設定を工夫している	B					